大仙市立中仙小学校　学校報

輝く ひとみ

令和２年度 第10号
令和２年５月13日

学校教育目標　　ゆめにむかって えがおいっぱい みんなでチャレンジ

＜学校の見守りにむけて＞

校地内へゴミの放置事案がありました

５月５日、祝日のこの日、学校にパトカーが来る事案がありました。校地内に放置されたゴミ（ゴミ袋に入れて７～８個）を見つけてくださった近所の方が不審に思い、警察署へ通報してくださったのです。行為者（ゴミを放置した人）については捜査中ですが、学校に対しての何らかの目的があったとすれば、とても怖さを感じます。

今回の事案については、近所の方の機転ある行為のおかげもありました。どうか、本校を、そして何よりも本校の子どもたちを守るためにも、保護者の皆様、地域の皆様からの見守りをお願いします。**※何かのついでに、学校前をすーっと通ってくださると大きな見守りになります。**

市内業者様からマスクの寄贈がありました

感染症予防にむけて、市内アパレル製造業「マルチョウ」様から、全校児童分のマスク（伸縮性メリヤス製）の寄贈がありました。ありがとうございます。今日、配付しましたので、ぜひご使用ください。

今回の件も含め、感染症対策に向けては、行政、事業所様からさまざまなご支援を頂戴しております。とてもありがいことです。

開校記念日についての連絡

６月２日（火）は、本校の開校記念日です。５０周年記念の節目の開校記念日となります。

通常、開校記念日については休業日にする場合が多く、４月のＰＴＡの際にお届けした年間計画でも休業日扱いにしております。ところが、４月下旬以降は臨時休業となり、学習する時間が少なくなっていることから、今年度は登校日とさせていただきます。ご理解のほど、よろしくお願いします。

このように、今年度は、いつもの年と同じようにいかないことが多くなりそうです。夏休みや冬休みが短くなるかもしれません。（決まりしだい、連絡します。）

職員の業務改善に向けて

教員の仕事は、俗に「ブラック」だと言われています。その理由の一つに労働時間があります。今年度から、時間外の労働時間が月あたり45時間以内にすることが法令で規定されました。学校では法令遵守ができるよう進めていますが、実際問題として難しいことがたくさんあります。「子どものため」「よりよい教育を」と考えると、際限なく時間が増えてしまうのです。また、帰宅を早くすることで、仕事を家に持ち帰る職員もいます。そのような板挟みの中で業務を進めている業種でもあります。

引き続き、朝の健康観察を

これまでのお子さんの健康管理、健康観察に深く感謝申し上げます。しかし、感染者数は減少傾向にあるとはいえ、安心はできない状況にあることは言うまでもありません。これまでと同様、検温やマスクの着用をお願いします。

その２

本校の歴史をたどる

このコーナーでは、本校のこれまでの半世紀をたどり、次の時代に向けてエールを送るものです。

どこの企業や事業所にも目標や目的があるように、学校にも教育目標があります。本校の教育目標は、この学校報（題字「輝くひとみ」のすぐ下）にもある通り、「ゆめにむかって　えがおいっぱい　みんなでチャレンジ」です。昭和４６年度の学校経営の概要に目標は見当たりませんでしたが、素敵な文言がいっぱいありました。

１　このようでありたい

⑴　統合校目下校舎は別々であるが、日々清新な気持ちで、子どもの心情を培っていきたい。

⑵　子どもの声が響く学級、学校に盛り上げたい。

⑶　教師は心を一つにして、喜んで学校の営みをしていけるようでありたい。

⑷　環境の構成には労を惜しまず、積極的に行動できるようでありたい。

どの文も今に通じるもので、学校経営上、まったく同じ思いです。

このような思いを、職員はもとより、地域と家庭、学校が互いに共有して、統合校スタート時を歩んできたのだと思います。また、そうした思いが中仙小学校の伝統や誇りとして受け継がれ、半世紀を過ごしてきました。ますますほれ込んでしまう、あこがれの中仙小学校です。

次号では、当時の校長先生が感じていた「児童の実態」を紐解きたいと思います。

お名前は「挽野鉄治」校長先生です。昭和４５年に赴任され、統合校一代目の校長先生です。